

みなかみ民報

発行所 日本共産党みなかみ町委員会 みなかみ町師 751-1

代表 江口健巳・連絡先 党利根沼田地区事務所 Tel 23-1519

◆原澤議員、林議員の活動をお知らせします。ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

定例議会報告

6月の定例議会は7月17日まで開かれました。2015年度的一般会計で11億2千万円余、下水道事業では3千万円余の繰越がありました。町土地開発公社の経営状況、及び月夜野総合グラウンドサッカー場整備工事請負変更契約の専決処分の報告。2人の人権擁護委員の推薦。

一般会計補正予算9965万円を追加し、総額136億4765万円が提案され可決されました。一般質問は5人が行い、林のぶゆき議員は「ごみの減量と、ごみ袋料金の引き下げ」で行いました。

林のぶゆき議員は、「原澤良輝議員が、一年前に質問した際、町長は現在のアメニティ施設をう

まく運用し、延命化を図って行きたいと述べている。今の状況は、どうなっているのか質しました。

町長は、「一般的なゴミ処理施設の耐用年数は20年程度といわれている。計画的に更新し施設の延命化を図って行きたい」。

林議員は、「どうゴミを減らすかが課題となる」として、徹底した分別で資源化をすすめる等、ゴミを資源として自治体を紹介しました。

町長は、「現在リサイクルセンターで堆肥の製造を行っているが、この能力を高めてアメニティに運ばれるゴミの減量化を図る。生ゴミをリサイクルセンターで処理していきたい」と応えました。

林議員は、「こうし

新三国トンネル開削促進期成同盟総会 東京オリンピックまでに…?



▲現在のトンネルの左に、2本の橋桁

8月8日、町カルチャーセンターにおいて、「一般国道17号新三国トンネル開削促進期成同盟会」の総会が行われました。

当日は、群馬・新潟選出の国会議員・顧問や県会議員、また、両県の関係する国土交通省、県土木部、振興局長などの来賓、みなかみ、湯沢の両町の町長、担当の議員、職員ら50人余が参加しました。

事業経過報告と新年度事業計画の確認がされた後、担当事務所長より「本体工事は来年着手する」等、進捗状況の報告がありました。参加者から「4年後の東京オリンピック前までに開通して欲しい」と要望が出ていました。

後日、三国トンネルを往復した林議員は「私たちが小学生時代に造られたトンネル、久しぶりに通って見たが、周囲は相当傷んでいた」と話しています。

中之条湯河原線でも

18日には中之条湯河原線整備促進期成同盟会の総会も開かれ、23kmのうち5カ所の急カーブ等、用地買収も徐々に進めていると報告がありました。

日本共産党発行



日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

▲ぜひご購読をお願いします。
日本共産党みなかみ町議員団

原澤良輝議員の談話

日本ユネスコ委員会は町全域と新潟県3市町をユネスコに「エコパーク・みなかみ」として推薦することを決めました。

自然と人間社会の共生を目的とする、エコパークは世界120カ国に669件、国内では志賀高原、只見、南アルプスなど9件が登録されています。豪雪

燃やせるゴミ (5384ト) の中身

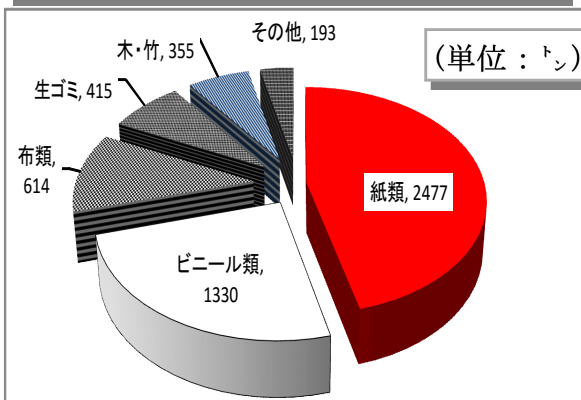


図1 H23年調査

地域特有の地形・独特の生態系など自然との共有を目指すエコパークには「ゴミゼロ」宣言が似合います。

町で収集する燃やせるゴミの46%、2477トが紙類。紙類は分別すればゴミでなく資源。生ゴミは7.7%で415ト。生ゴミの半分は水分。堆肥化すればゴミではなくなり、また、竹・木材は2、3年で堆肥になります。これで3247ト。60%の減量ができます(図参照)

議員厚生常任委員会(高橋市郎委員長)は、7月に生ゴミの堆肥化や分別などについて、北海道・富良野市を視察し減量化を検討しました。

また、ゴミを減量化する原澤良輝議員の質問に町長は「生ゴミの乾燥化など視察し研究したい」と答弁していました。

ゴミゼロに向けた生ゴミの堆肥化や、資源ゴミの分別回収によるリサイクル率の向上など自然との共生で観光や農業・林業の振興が望まれます。

政治変える希望示した

堀越氏、塩川・梅村両議員と懇談

困難をのりこえて 地域の野党共闘

7月10日投開票で行われた参議院議員選挙は、野党と市民が、さまざまな困難をのりこえ力をあわせてたたく、選挙でした。この群馬でも堀越けいじん氏を統一候補として奮闘しました。

得し得票率で10.59%、前回比16%増を得ることができました。また、選挙区野党統一の堀越けいじん候補は、2806票(得票率29.19%)で利根沼田地区全体の得票率を若干ですが上回る事が出来ました。ご支援いただいた皆さんに感謝申し上げます。

▲握手を交わす 左から宮崎議員、堀越氏と塩川・梅村両議員

先の参院選挙で群馬選挙区野党統一候補して大奮闘した堀越けいじん氏が8月3日、国会を訪れ、日本共産党の塩川鉄也、梅村さえこ両衆議院議員と懇談しました。民進党の宮崎たけし衆議院議員が同行しました。

懇談では、塩川、梅村両議員が、堀越氏へのねぎらいの言葉を述べるとともに、「市民と野党が力を合わせたことが得票を伸ばし、政治が変えられるという希望を示した」と話しました。

堀越氏と宮崎議員は、「共産党の皆さんに力強く選挙活動をしてもらった」「心から感謝したい」と話し、選挙で掲げた公約の実現へ今後も力を合わせることを誓い、握手を交わしました。

日刊しんぶん赤旗 8月5日付け抜粋



堀越けいじん氏を支援した各地域を上げます。

▲堀越カーとのドッキング、塩原公園前、朝のスタンディング

の野党共闘で勤労協や諸団体の奮闘がありました。「新治九条の会」を中心にした共闘は、選挙期間中の12日間、塩原公園前で朝7時半から8時15分まで、「アベ政治を許さない」スタンディング宣伝。数人から始まった行動も応援者も加わり、10人の宣伝は圧巻でした。また、6月29日の朝、堀越けいじん氏も来町し、賑やかな宣伝行動が出来ました。



藤原湖マラソンに 一七〇〇人

藤原ダムの完成を記念して開かれている藤原湖マラソンも、今年で59回目。15km、5km、3kmのコースに年令、性別など12部門に1,700人が参加しました。今年は、沼田市出身、旭化成陸上部の深津卓也選手がゲストランナーとして、激励挨拶(下写真)し、一緒に15キロを走りました。



無料生活・法律相談のご案内

毎月・第二、第四(水曜日)

前日までに電話予約をお願いします。

生活相談、各種債務(サラ金)、生活困窮、いじめなど、原澤議員(電話六二一三三三四三)、林議員(電話六六一〇八七六)の顧問弁護士が相談に応じます。

場所：日本共産党 利根沼田地区委員会

住所：沼田市下久屋町九八三 電話 二三一五一九